

PTAの困りごととは何か？

**役員・委員長引き受け
手がおらず、毎年役員
選出に時間と労力がか
かり困っている。**

PTAの困りごととは何か？



そもそも、
『誰も役員を
やりたがらない…』



なかなか決まらないのは…

理解不足

- PTA役員が、何をしているのか分からない上に、とにかく大変そう
- PTA活動自体やることの意味が理解できない

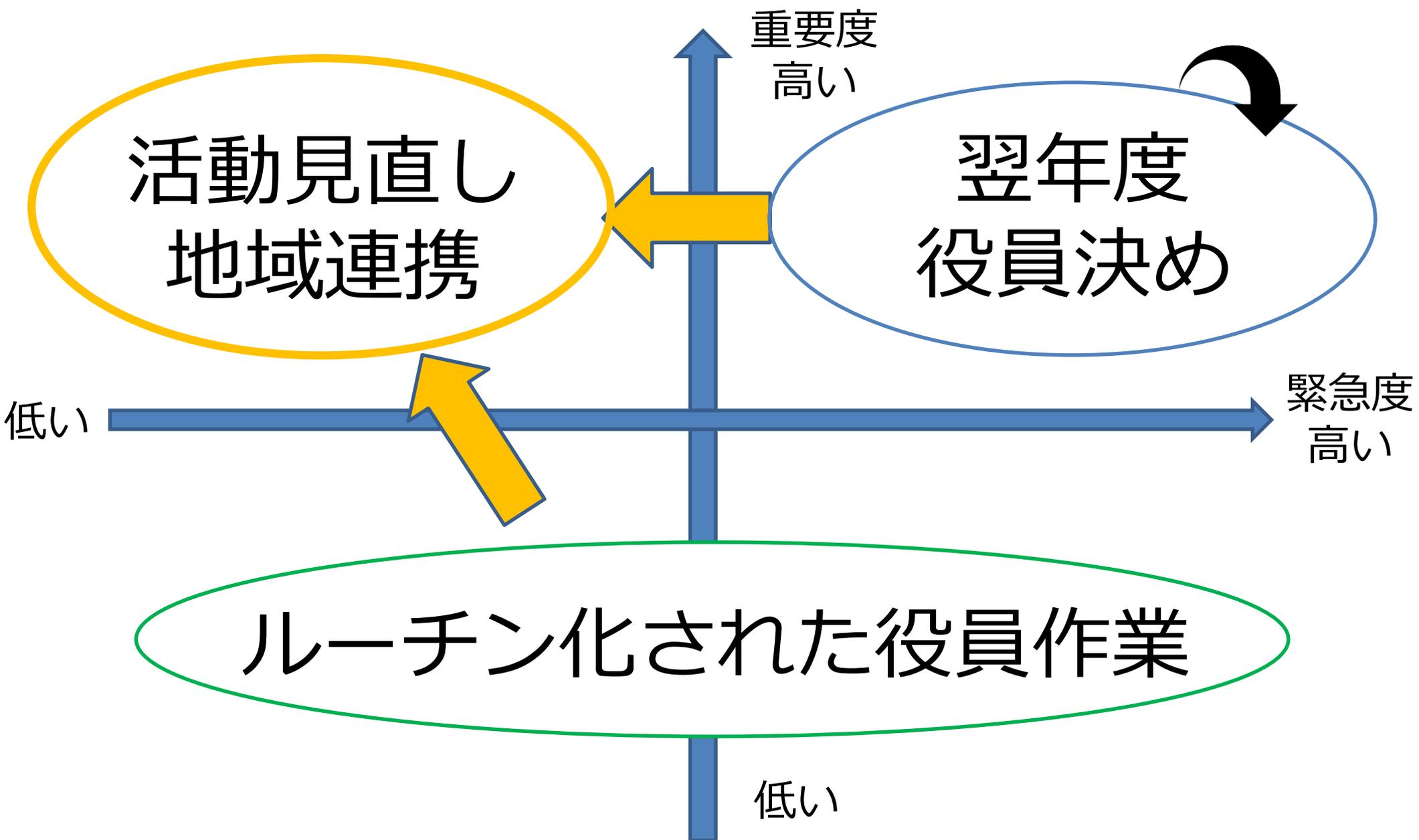
負担

- 家庭の時間が犠牲になる
- 作業負担が高く、男女で作業が平準化されていない。

やりたがらない

- わざわざ自分でなくても誰かがやってくれる
- やることにメリットがない

現状を整理してみると...



理想の姿は

やりたい・やってみたい

子ども達の為と考える方々が立候補や
推薦で役員が選出される



必要性を感じ

- ・役員や委員長の必要性を感じてもらう
- ・子ども達のために必要なことは？

目的を理解し

- ・原点に立ち返り、PTA活動の
目的を理解する



どうするべきか

毎年の目先の役員決めではなく、不明瞭な部分を明確にし、正しい情報や役員のイメージアップを全家庭に伝える。合わせて、役員作業の見直しを行い、作業軽減をはかる。

今後



事業見直し



**助け合える事業
は協力し合う**



**共通の課題を抽出
し、合同事業検討**



**意見交換会を頻繁
に開催**

今後の計画

現状

- PTA活動の目的を確認(目的を再認識)。
- PTA活動の見直し(作業一覧の作成)。

共有

- 学校三役や自治会長及びその他関連団体(健全育成会等)の会長とともに現状を共有。
- 「地域コミュニティの在り方について」検討委員会のような集まりの実施。
- 活動目的の明確化と整理。

今年度ここまでやりたい

見直し

- 地域の方々と目的にあった活動となるように見直し。
- 今の現状を考慮した活動に再構築。
- PTA活動の作業一覧を見直し。

活動

- 見直した活動で、まずはやってみる。
- イメージアップに繋がる施策を検討して、啓蒙活動。